

週報

令和 5 年 3 月 17 日

2022~2023年度 No.28

2022-23年度 国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長 ジェニファー E. ジョーンズ

プログラム

S A A 有川 真史君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「それでこそロータリー」

☆四つのテスト唱和 職業奉仕委員会

☆誕生祝

☆食事懇談

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

②青少年奉仕委員会

☆部内卓話

神之浦 文彦君

☆点 鐘

現在会員					30名			前々回の欠席者(3/3)						2名	
本 日	出席	18名	欠席	6名	免除(a)欠席	3名	免除(b)欠席	3名	出席率					75.00%	
	出席	18名	MU	4名	免除(a)MU	3名	免除(b)MU	3名	修正出席率					91.67%	
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
	本年度	75.55	81.16	83.53	77.58	89.84	89.31	87.32	93.48						
	前年度	74.94	休会	休会	81.53	77.59	73.49	85.71	休会	70.49	69.74	70.51	77.60		

例会場 カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
例 会 金曜日(12時30分~13時30分)
事 務 所 長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 才 津 喜 彦
副 会 長 中 村 吉 廣
幹 事 西 上 裕 一郎
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

誕 生 祝

橋本 武敏君(昭和44年3月15日生)



3月15日、54歳になりました。

1年前のこの場では、登山に挑戦したいと話しました。あれから1年、五島の七ッ岳、父ヶ岳にあわせて5回登りました。どちらも山の高さは500m有りませんが、素人には丁度良い山です。

今年は五島の山を卒業して、もっと高い山に挑戦したいと思います。

本日は誕生日祝、有難うございました。

会長の時間

会長 才津 喜彦君

皆様、こんにちは。それでは3月度第3例会28回目の会長の時間を始めます。

先週3月11日(土)WBC日韓戦の興奮冷めやらぬ中、福江ロータリークラブ杯五島市中学校軟式野球大会が開催され、12名のメンバーの皆さんに参加頂き、誠にありがとうございました。結果の方は青少年奉仕委員会よりご報告があると思いますので、宜しく願い致します。私自身、始球式で中央公園野球場のマウンドに22年ぶりに立たせてもらいました。主審をつとめたのも小中高と一緒に野球をやっていた同級生で、始球式前に「軽くてよかけんね」と言われ「およおよ」と返事し、いざ投球したら絵に描いたような見事なワンバウンド。前日WBC日韓戦を見ていた時、岸田総理大臣の始球式を見て「明日はさすがにこれよりはマシやろ」と家族の前で言ってしまいましたが、結果はさほど変わらない始球式になってしまいました。月日の流れの早さと体力の衰えを、ひしひし感じさせられました。今回、参加チームが2チームで1つは合併チーム。来年以降のお話も軟式野球連盟の方々とさせて頂きましたが、チー

ム数が劇的に増える事はないであろうという事でした。個人的には子供たちのプレイしている姿を見ていたら、やはり練習の成果を発揮する場を設けてやらなければならないと思いましたが難しい問題です。次年度以降、検討が必要になってくるのではないかと思います。

それでは今週の「来たらおいしいイチオシ馬」の前に前回の結果ですが、推奨しました⑤サトノセシル3着でした。荒れるレースとして予想しましたが1番人気④アートハウスは飛びましたが、さほどの荒れるレースでもありませんでした。⑤サトノセシル前目でレースをする展開予想でしたが、スタート後、中段内側1番人気④アートハウス後ろに付け、じっと待機。最後の直線で内側より1番人気④アートハウスをハナ差差し切り3着。やはり、57キロと55キロの斤量の差が結果に反映されたのではないかと思います。さて、今週は3月19日(日)阪神競馬場で開催される阪神大賞典(GⅡ芝3000m)からです。このレースは先週の牝馬限定のハンデ戦とは正反対で、全く荒れないレースとして有名なレースの内の1つです。過去10年で勝ち馬は1番人気7回、2番人気1回、3番人気2回と、ほぼほぼ固めの決着になっています。なぜかという、1200mなどの短距離戦は出遅れ・折り合いを欠くなどレース中ひとつのミスも許されませんが、3000mなどの長距離戦の場合はレース中のミスもレース中に挽回することができ、最終的に力のある馬が勝つので荒れにくくなっています。今回推奨する馬は①ボルドグフーシュ(1番人気想定オッズ1.6倍)と③ジャスティンパレスです(3番人気想定オッズ3.3倍)。この2馬は去年同会場で開催された菊花賞2着3着馬で、①ボルドグフーシュはその後の有馬記念も2着でした(③ジャスティンパレス7着)。昨年の菊花賞の時に述べましたが、3歳牡馬三冠は「皐月賞はスピードのある馬が勝つ」「日本ダービーは運のある馬が勝つ」「菊花賞は実力のある馬が勝つ」と言われています。キタサンブラック引退後、長距離路線が手薄になってきている現在、今後の長距離路線の中心となってくる2頭だと思います。あくまでも狙いはその先の天皇賞春。3か月の休み明けで馬体重が気になりますが、今回は自信を持って①ボルドグフーシュと③ジャスティンパレス(馬連・ワイド①-③)を推奨したいと思います。以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 西上裕一郎君

【当クラブ関係】

○第9回定例理事会報告

- トルコ・シリア大地震支援金について
当クラブ予備費より30,000円を支出し、ガバナー事務所経由で支援金を送ることとする。
- 福江RC杯五島市中学校軟式野球大会について
大会運営費を例年通り50,000円支出することとする。

※次年度への申し送りとして、チーム数の減少を考慮し福江軟式野球連盟と事前に話をして、場合によっては大会運営費の見直しを検討するよう提案があり。

- 今後の例会のマスク着用について
政府からの通達を踏まえて、マスク着用は個人判断に委ねる。
テーブル等のパーティションについては、しばらく継続する。
- 観桜会の開催について
観月会が中止になっていることから代替として観桜会を開催する。
開催日時を3月25日(土)16時30分からとする。開催場所やその他は、親睦委員会に一任とする。

○例会休会のお知らせ

- 次週3月24日(金)は、クラブ定款第7条第1節(d)項により例会休会。

○福江RC杯五島市中学校軟式野球大会

- 先週3月11日(土)開催されました。詳細は後程、青少年奉仕委員会より委員会報告にて。

【地区関係】

○長崎出島RCより

- 第48回RI2740地区第9・第10グループ親睦ゴルフ大会案内

【地区以外ロータリークラブ関係】

○福江中央RCより、週報第22号

委員会報告

出席報告

- ◆ 3月17日(免除(a)欠席者)
中村 博義君 植松 郁雄君 釜崎 洋君
- ◆ 3月17日(免除(b)欠席者)
谷川 和啓君 佐々野邦久君 清瀧 誠司君
- ◆ 3月17日欠席者
片山 雅文君 小畑 和男君 坂井 成光君
中村 栄治君 山里 一郎君 藤川 博士君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇ 神之浦文彦君 卓話よろしくお願ひします。
- ◇ 橋本 武敏君 誕生祝ひありがとうございます。
- ◇ 才津 喜彦君 神之浦さん、部内卓話よろしくお願ひします。
- ◇ 中村 吉廣君 ”
- ◇ 西上裕一郎君 ”
- ◇ 吉田 泰之君 ”
- ◇ 戸田 博之君 ”
- ◇ 張本 民雄君 ”
- ◇ 山下 実君 ”
- ◇ 柳田 靖夫君 ”
- ◇ 平村 和弘君 ”
- ◇ 松岡 孝博君 ”
- ◇ 山下 克己君 ”
- ◇ 宮本 光藏君 ”
- ◇ 三村 剛孝君 ”
- ◇ 寺澤 信義君 ”
- ◇ 森田 大輔君 ”
- ◇ 有川 真史君 ”

合計 18,000円

通算合計 562,000円

青少年奉仕委員会

福江ロータリークラブ杯 五島市中学校軟式野球大会の報告

3月11日、土曜日に行われた野球大会は晴天の中、才津会長の威力のあるワンバウンドの始球式

で始まりました。なお、開会式はコロナ感染防止のため行われませんでした。

参加校は2校。先行は岐宿・三井楽中学校連合チーム、後攻は福江中学校チームで試合が行われ、結果はランニング満塁ホームランなどで福江中学校が20対0の5回コールドで勝利しました。点差は開いたものの、両チームには清々しいプレイを見せて頂きました。

閉会式は開催され、才津会長の表彰と挨拶のあと球児たちとの記念撮影で大会を終了しました。

なお、会員の参加は12名となっております。

部 内 卓 話

神之浦 文彦君



久しぶりに卓話をさせていただきます。もともと話すのが下手な上に滑舌も悪いので、話している意味が分かりにくいこともあると思いますが、少しの時間よろしくをお願いします。

2月16日の晩になぜかわからないのですが、五島バスに乗ろうとする夢を見ました。普段からバスの利用をすることはほとんどないし、どうしてそんな夢を見たのかいまだにわかりません。停留所があるタバコ屋のおばさんに「バスは何時に来るのですか」と聞いても、おばさんは「分かりません」というので電話帳で五島バスの電話番号を探してたのですが見つかりませんでした。いろいろがつのりましたが、夢はそれで終わったように思います。

翌日、RC例会に出席すると、昨夜夢に見た五島バスの社長三村さんが自分のところによって来たのでびっくりしました。夢のことを知っているのかと一瞬思いました。何の用件かと思ったら卓話を頼まれました。五島バスの夢の次の日に五島バスの社長から頼まれたので何かの縁と思い断れませんでした。

趣味について話させていただきます。趣味はあまりないのですが、ゴルフをたまにします。とても下手で自分でも嫌になります。元NHKの会長

をしていた方が「ゴルフはボールとお金と自尊心を失うスポーツだからしない方が良い」と言っていましたけど、まさにその通りかもしれません。

そのほかにボクシングが好きで、かなりマニアです。子供のころ、輪島功一チャンピオンが韓国の柳済斗選手にリベンジで3度目の王座を獲得した試合は強く印象に残っています。ちなみに、この試合の実況をしたのはアナウンサーの逸見政孝さんでした。逸見さんは、この試合の実況をしたことがアナウンサー人生で一番印象に残っているとおっしゃっていました。日本中を感動の渦に巻き込んだ柳済斗とのタイトルマッチの翌日、都内で強盗が銀行に立て籠もる事件が起きました。このとき警察官が犯人に対し「輪島は逆境から立ち上がってチャンピオンになった。お前も昨日の輪島の試合を見ただろう。輪島を見習い人生をやり直せ」と説得したというほど、あまりにも劇的な輪島の王座復活は、当時の国民的関心事だったことがうかがえます。

具志堅用高のことも印象に残っています。故郷を愛した具志堅が、14度目の防衛戦をKO負けて失敗した翌日の新聞の一面に「具志堅 故郷に沈む」と題した記事が出ていたことを記憶しています。新聞記者もうまい見出しをつけたなあと感じました。

現在のボクシングでは、もちろんモンスター井上尚弥です。デビュー6戦目の2014年4月6日、ライトフライ級タイトルを奪取してからスーパーフライ、バンタム級と階級を上げて世界戦で19連勝17KO勝ちをしています。本当にすごい選手です。5月7日には1階級あげて、スーパーバンタム級で2団体統一王者のフルトン選手に挑戦します。ちなみにライトフライ級は108ポンドで48.97kg、今度のスーパーバンタム級は122ポンド55.34kgです。身長164cmの井上選手が6.37kgの増量です。9年間かけて少しずつ階級を上げていったのですが、身長、リーチでハンディが懸念されていますが大丈夫でしょう。また2022年6月10日には、世界で最も権威があるボクシング専門紙ザリングでパウンド・フォー・パウンドにも選ばれています。パウンド・フォー・パウンドの定義はいろいろありますが、全部で17階級のチャンピオンで一番強いということです。ランク上位は通常人気がある中量級以上のクラスから選ばれるので、軽量級選手の1位はすごいことです。もちろん日本人で初めてです。

そして、有名なボクサーの階級を紹介します。輪島功一がジュニアミドル級、現在のスーパーウェ

ルター級で154ポンド69.85kg、ガッツ石松がライト級135ポンド61.23kg、具志堅用高がライトフライ級で108ポンド48.95kgです。日本人は体が大きくないので軽量級の選手が多いのですが、欧米ではウェルター級147ポンド66.68kgが平均的な体形と言われていて、有名なチャンピオンが輩出されています。最近、日本にもよく来ているフロイド・メイウェザーJr、フィリピンの英雄マニー・パッキャオ等も階級を上げてウェルター級で活躍しました。2015年に行われたメイウェザー対パッキャオ戦は、2人合わせて400億円を超える報酬になりました。

次に大相撲の話をしていただきます。貴景勝の綱とりが微妙になったように思いますが、諦めないで最後まで頑張してほしいものです。余談ですが、貴景勝の嫁は元大関北天祐の娘です。とても美人です。以前、若島津という人気大関がいました。嫁は歌手の高田みづえさんです。高田みづえさんが、初めて北天祐の嫁と会ったとき「すごくきれいな女性！」と驚いたといいます。つまり、嫁の母親も美人だったということです。元大関朝の山が十両一枚目に戻ってきたのも今後楽しみです。若隆景、若元春、若隆元という兄弟力士がいます。名前は中国地方の戦国大名毛利元就の息子たちで三本の矢で有名な三兄弟、長男隆元、次男元春、三男隆景からとって名付けられています。後世の評価で三人のうち猛将の二男吉川元春、智将の三男小早川隆景は高く評価されています。それぞれ養子に出されて二男元春が山陰地方、三男隆景は山陽地方を治め、本家毛利家の繁栄に貢献していました。長男の毛利隆元は、それほど高くありません。早世したことも原因かもしれませんが、力士でも弟2人は関脇、小結と出世していますが、長男は幕下7枚目が最高位です。隆元さんには悪いのですが、名付けた親方がいけなかったのではないかと一人思います。朝青龍の甥の豊昇龍、元横綱琴桜の孫の若乃花等、若手にも期待しています。

最後に仕事の話をしていただきます。福祉の仕事をして33年しています。最初の20年くらいは役所の出先機関みたいな組織で、地域福祉、つまり地域全体が安心して暮らせるようにしていくような仕事をさせてもらっていました。平成18年から介護事業の会社を立ち上げ、14年前から老人ホームの経営をしています。木場町でケアハウスという老人ホームと有料老人ホームを経営しています。親を施設に入居させることは、多分一生に一度あるかないかというくらいレアな経験だと思います。

一生に一度くらいしかないことなので、施設入居のことなど多分わからないことが多いと思います。施設もいろいろな種類の施設がありますので、ミスマッチがないような助言が出来ると思います。よろしかったら相談をしてください。丁度、私の年齢の親御さんの介護が必要な年齢になってきているのか、友人知人の親御さんとか預らせていただく機会が増えてきました。入居していた人で、数年前に亡くなった友人のお母様の通夜式に参列しました。喪主である友人のあいさつの中で、「施設の方には大変お世話になりました。」と言ってもらいました。良い仕事をさせてもらっていると改めて思いました。

最後になりますが、施設に入れるのは姥捨て山に捨てるようにイメージしている方もいると思いますが、自宅にいる時より施設に入居してからの生活を楽しんでいる人の方がぜんぜん多いと思います。

末期がんの看取りは数か月とか期間が分かっている、先がおおよそ見えているので頑張って出来るような気がします。しかし介護の場合、表現は良くないかもしれませんが、いつまで続くか分かりません。私の33年の経験で、完全に家族で介護して見送った事例は1家族だけです。愛されて育ったから、その恩返しとして、親の介護は自分がしてあげたいと頑張る人も途中で出来なくなってしまいます。介護する方もされる方も、ストレスを抱えることになります。私は利用者のご家族に「介護はプロに家族は愛を、心の介護を」と話します。介護はプロに任せて、小まめに面会に來たり電話をかけてやったりする方がお互いに幸せだと思います。

つたない卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。